

●年末の交通事故防止県民運動● ●●12月1日(土)～12月31日(月)●●●

スローガン ～ 反射材 あなたの未来を 照らしてる ～

年末は、交通混雑や飲酒の機会の増加による交通事故及び日没時間の早まりに伴い、夕暮れ時から夜間にかけての交通事故が多発する時期です。一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールを守り交通マナーの向上に取り組むことにより、交通事故を防止しましょう。

運動の重点 (1) 夕暮れ時と夜間の交通事故防止 (2) 飲酒運転の根絶

夕暮れ時の運転は要注意！

例年この時期は、16時から19時にかけて死亡者数が急増する傾向にあります。車を運転する場合には、上向きのライトを積極的に使用して歩行者等の早期発見に努め、事故を未然に防ぎましょう。



運転者から見える距離

20m
黒っぽい服

30m
ねずみ色の服

40m
白っぽい服

130m
反射材をつけた時

運転者から見える距離について

左の図のように、下向きライトは約40mしか照らすことができません。
時速60kmで走行した場合、停止距離は約44m必要です。(上向きライトであれば約100m先まで照らすことができます。)

問合せ 町民課 ☎029 - 288 - 3111(内線116) 笠間警察署 ☎0296 - 73 - 0110

文芸しるさと

俳句

秋暑し口開けてるる古倉庫 飯田 勇一
あらかたは零れし胡麻をなをも打つ 鯉淵寿美恵
沢道のいつも湿りて草紅葉 仲田まちる
峡紅葉トロッコの孫はしやぎをり 森 静江
瓦礫てふうず高き丘海霧深し 今瀬多代美
恵比須講父母在りし日の圍炉裏ばた 袴塚よし子

短歌

移りゆく秋めぐり来てざくろの
実紅く熟れつつ鮮やかに輝る 大森 久子
挽わなるムラサキシキブの実は
垂れて熟れ極まりて風に騒ぎぬ 青柳 京子
マスクにて歯医の素顔は見ず
終ひ感謝なしつつ完治日迎ふる 杉山みちこ
狭畑にトマトの苗をただ二本
黄の実は鈴生りおもおも垂るる 所 美恵子
みずの詩「みんなちがってみ
んないい」ひとり頷きひとり安
らぐ 渡辺千紗子

川柳

八十路すぎ歳を忘れる事にする 青木新三郎
妻に嘘買ったドライパーはや 富田 多蔵
OB
白ちようちよ網持ち立つと去
つていく 飯村 孝一
人の数減っても増える世帯の数 徳宿 邦忠

描きかけの墨絵の如き秋の空 いそべきよ
道祖神りんご一つの祈りかな 寺門 孝子
秋の水心の鏡ぴかぴかす 竹内 幸子
安達太良は雲まで染めて紅葉山 飯村 昭子
故郷を訪ふことも稀栗拾ふ 一杉 常子
菊日和一日一万歩に足らず 瀬谷 博子
後の月南下す飛行機見送りぬ 岩下 金司
一さかり四季くれないの庭躑躅 田口 勝元

お詫びと訂正
11月号に掲載の鯉淵寿美恵さん
の句に次のとおり誤りがありました。
た。お詫びして訂正いたします。
正 岩越ゆる 誤 岩超ゆる

現在の野田総裁に願ひおり感
動させる政治ありたしと 山形 式妙
澄みわたる大空の下菊花咲く
小さき畑の草取りをする 鶴田 すが
憶いでを語りつ姉と墓清め曼
珠沙華添え線香手向ける 菌部 光子
岩ひばにたつぷり水を注ぎあ
て優れし鉢に亡き夫想う 富田 欽子
闇の中金木犀のほの匂う植え
くれし人逝きて幾年 枝 不美
水に流す心算は今もなかりけり
吾が生き態の暗さい加減さ 片見 和枝

夕映えのなか山路行く「ドライ
ブ」は久方ぶりに心たのしき 川上千代子
ほうけたる尾花にからむ糸へち
ま赤き実をつけしぐれる山里に 島 愛子
色づきし「コキア」の紅がふん
わりと友葬り日の軒にやさしき 多田志保子
曲り腰さらにまげつつ店仕事
八十五年生かされおりぬ 坪井きよ子
降り立ちて口遊みみる智恵子
抄永遠に青かれ安達太良の空 萩谷登喜子
中空に十三夜の月昇りゆく透
き徹る如く光増し来る 富田佐智子